

同窓会報発行によせて



同窓会長 清水貞子

伊那弥生ヶ丘高等学校同窓会会員の皆様にはご清祥のこととお喜び申し上げます。

平成21年度同窓会総会におきまして会則を改正し、同窓会活動に対して一層のご理解をいただきますように努めてゆくことが確認されました。

活動のあり方につきましても一人でも多くの同窓生に参加していただけるよう、皆様からご提案をいただき、検討してまいりたいと考えております。

同窓生と一口に言いまして、それぞれの時代背景が異なり、また女学校であった昭和51年までと、その後共学となってからの時代では、学生時代の経験もまたちがったものであると思うのですが、希望に燃え、エネルギーを燃焼させた青春時代を過ごした仲間として、母校を想い、その発展を願う気持ちに変わりはないことと思います。

より活発な同窓会の姿を求めつつ、できるところから実施してまいりたいと思っております。

平成23年に母校は、創立百周年を迎え、平成23年10月には「祝う会」を予定しております。この百年に一度の機会を同窓生として盛大にお祝いし、母校への感謝の気持ちを形にして残すべく、百周年実行委員会を組織して準備をすすめてまいりました。

このたび趣意書が完成いたしましたので、お手元に送らせていただきます。趣意書にこめられました私どもの気持ちをご理解いただき、多くの皆様のご賛同をいただけますようお願い申し上げます。

改正されました会則に盛り込まれた同窓会活動の一つに、同窓会報の発行がございます。皆様にご協力いただき第一号が発行できる運びとなりましたことを嬉しく思っております。百周年記念事業に向けての取り組みをお知らせするだけでなく、さまざまな世代の方々にご寄稿していただきました。

自分が過ごした学生時代が百年という長い時間のどこに位置しているのか、まさに自分の青春時代を歴史の中においてみることができ、新たな思いで若き時代を振り返る楽しみを与えてくれるように感じております。

毎年会報を皆さまにお届けして、学校の様子、同窓生の母校への想いや、ご活躍の様子をお知らせし、同窓生としての絆を一層強め、またこれまで以上に親睦を深めていただく機会を提供できれば幸いです。

同窓会の活動につきましては、ご意見を頂きながら、新たな百年に向けて世代を問わず、全ての同窓生が気軽に参加できる同窓会活動にしたいと願っております。

皆様方のご協力と積極的なご参加を切にお願い申し上げ、初刊号発行のご挨拶とさせていただきます。